

「地域で育てる観光まちづくり人材」

北海道小樽市

◆趣旨

現在の小樽市は、年間600万人以上の観光客が訪れ、観光関連産業が基幹産業のひとつでもある観光都市ですが、観光都市としての歴史は必ずしも長いものではなく、1970年代に始まった小樽運河論争が発端となった市民運動によって歴史的建造物をはじめとした地域資源が半ば偶発的に観光化したという経緯を持っています。これはシビックプライドの向上によって再評価された地域の有形無形の資源が観光振興の推進と地域ブランドの向上に寄与した事例と解釈することができます。この経験を生かし持続的な地域活性化の推進力に繋げるためには、次代の観光まちづくり人材を長期的な視点で育成することが重要です。小樽における市民と行政の協働による観光まちづくりの具体的事例に触れながら人材育成のあり方について検討したいと思います。

◆北海道小樽市の概要

小樽市(人口129,013人:平成25年2月末現在)は、北海道西海岸のほぼ中央に位置する、市街地の一方が日本海に面し、他の三方を山々に囲まれた坂の多いまちです。

西側の海岸は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されているほか、スキーやマリンスキー、温泉など、四季折々の豊かな自然を身近に楽しむこともできます。

また、天然の良港である小樽港は、明治から昭和初期にかけて、国際貿易港として繁栄し、北海道経済の中心でした。現在では、この頃に建造された銀行建築をはじめとする石造りやレンガ造りの近代建築物がレストランやガラスショップなどに再利用され、再整備により保存された小樽運河とともに、独特の街並みを形成し、観光のまち「おたる」として、訪れる多くの人に「やすらぎ」と「いやし」を感じさせています。

主任講師

1971年北九州市小倉生まれ。筑波大学大学院社会学研究科修了(博士(社会学))。2003年より現職。現在、小樽市都市計画審議会委員、同住宅行政審議会委員長、同まちづくり協働事業審査委員長などを務める。大学では小樽商科大学で都市計画/地域経営を教える傍ら、地域共同研究センターなどの活動で幅広く地域と大学の連携・協働の基盤整備を進める(現在はフェロー)。近年は地域連携プロジェクト実践型教育を通じて、地域の有形無形の資源を活用したキャリア教育と学生が主役となった地域活性化の両立を実践。また市民力・地域力の向上を目的としたNPOのアドバイザーとしてもまちづくりに関わる。

小樽商科大学商学部社会情報学科 准教授 大津 晶 氏



◆研修会場

小樽運河プラザ三番庫

〒047-0031 北海道小樽市色内2-1-20

アクセス ★JR小樽駅から徒歩で8分

◆日程

7月16日(火)

- 13:30 開講式・オリエンテーション
- 13:45 **Lecture 1**
総論・問題提起
主任講師/大津 晶 氏
- 14:25 **Lecture 2**
「小樽市の観光の現状と観光基本計画について」
特別講師/産業港湾部観光振興室長 中野 弘章 氏
- 14:55 **Lecture 3**
「小樽の地域力を高めるまちづくりと情報化」
特別講師/NPO法人小樽ソーシャルネットワーク理事 中山 仁史 氏
- 16:00 **Lecture 4**
「市民のおもてなしによる地域ブランディング」
特別講師/小樽雪あかりの路実行委員会 簗谷 和臣 氏
- 16:45 **Workshop 1**
ミニワックスボールの製作

7月17日(水)

- 9:00 **Lecture 5**
フィールドワークの説明
主任講師/大津 晶 氏
- 10:00 **Field Work 1**
「鯨漁のまち祝津のたから」
特別講師/NPO法人おたる祝津たなげ会 渡部 満 氏
- 12:00 昼食(小樽貴賓館)
- 13:00 **Field Work 2**
「小樽案内人はまちのコミュニケーター」
特別講師/NPO法人歴史文化研究所 美濃 進 氏
- 16:10 **Group Work 1**
フィールドワークのまとめ
主任講師/大津 晶 氏
- 18:30 **Workshop 2** (※希望者のみの参加)
地域通貨「Tarca」を用いた店めぐり体験(兼夕食)
解説/小樽商科大学地域研究会学術研究員 宮崎 義久 氏

7月18日(木)

- 9:00 **Group Work 2**
ディスカッション・発表
主任講師/大津 晶 氏
- 11:15 **Lecture 6**
総括
主任講師/大津 晶 氏
- 11:50 閉講式

◎申込先・問い合わせ先

一般財団法人 地域活性化センター振興部 地域支援課

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

TEL (03) 5202-6136 FAX (03) 5202-0755

E-mail chiiki@jcrd.jp

URL <http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp>